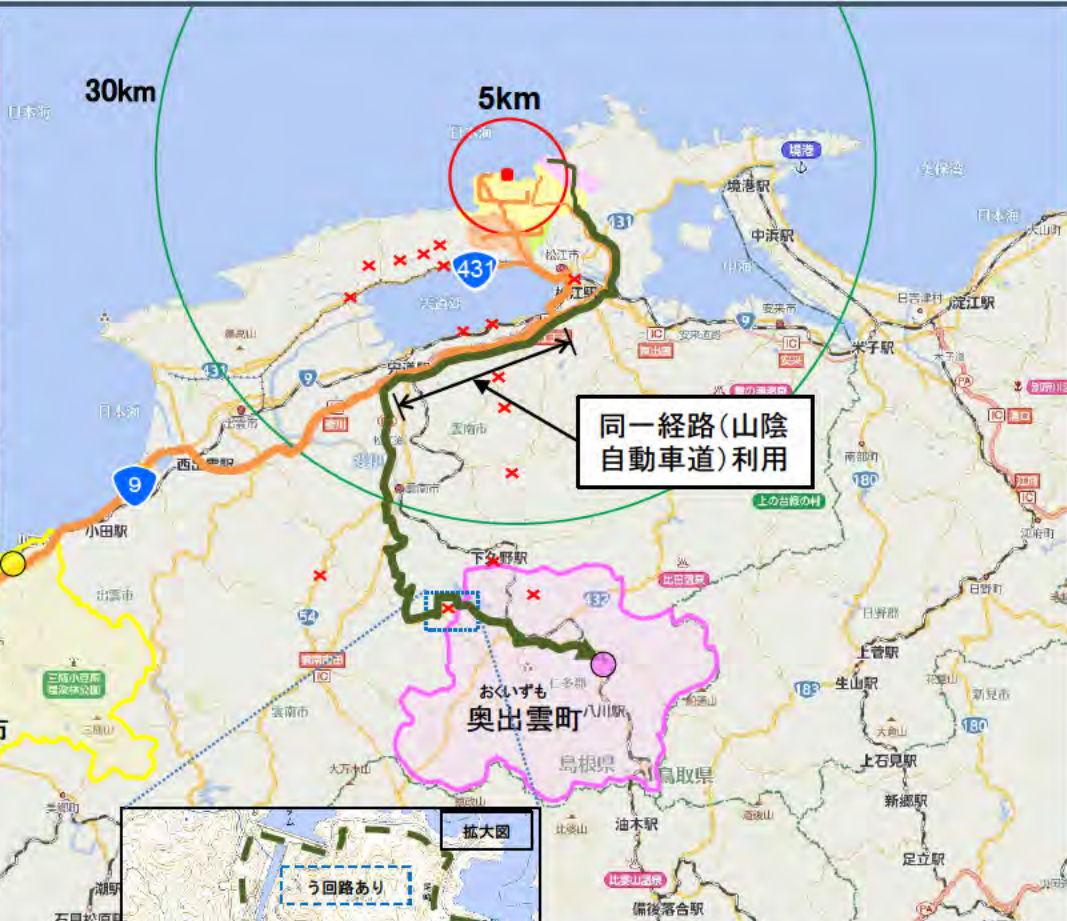


全面緊急事態（15条）における避難の実施計画

- PAZ内の松江市3地区（鹿島地区、生馬地区、古江地区）の一般住民は、陸路にて避難先（大田市）の避難経路所を經由し、避難所に避難。島根地区の一般住民は、陸路にて避難先（奥出雲町）の避難経路所を經由し、避難所に避難。
- バスにより避難する住民1,128人は、徒歩等で各地区内の一時集結所に集合し、島根県等が確保したバスにて、避難経路所を經由し、避難所へ避難。
- 安定ヨウ素剤を携行していない者に対しては、緊急配布場所（一時集結所等）において緊急配布を実施。

| 避難元 | 避難先 | |
|----------------------|-------|--|
| | 避難経路所 | 避難所数 |
| 鹿島地区 (5,371人) | 大田市 | 大田高校、 第一中学校、 朝波小学校 避難所 : 14施設 広域福祉避難所: 2施設 |
| 生馬地区（一部） (1,023人) | | 長久小学校 避難所 : 10施設 広域福祉避難所: 1施設 |
| 古江地区（一部） (973人) | | 旧温泉津中学校、 温泉津地区運動場 湯里地区体育館 避難所 : 8施設 広域福祉避難所: 5施設 |
| 島根地区（一部） (596人) | 奥出雲町 | 横田公園 避難所 : 15施設 広域福祉避難所: 6施設 |
| 合計 7,963人 | | |



参考:必要となる避難手段

| 自家用車での避難 ができない住民 | 対象人数 | 必要車両台数(バス) |
|---------------------|--------|------------|
| | 1,128人 | 36台 |

(凡例)避難経路所

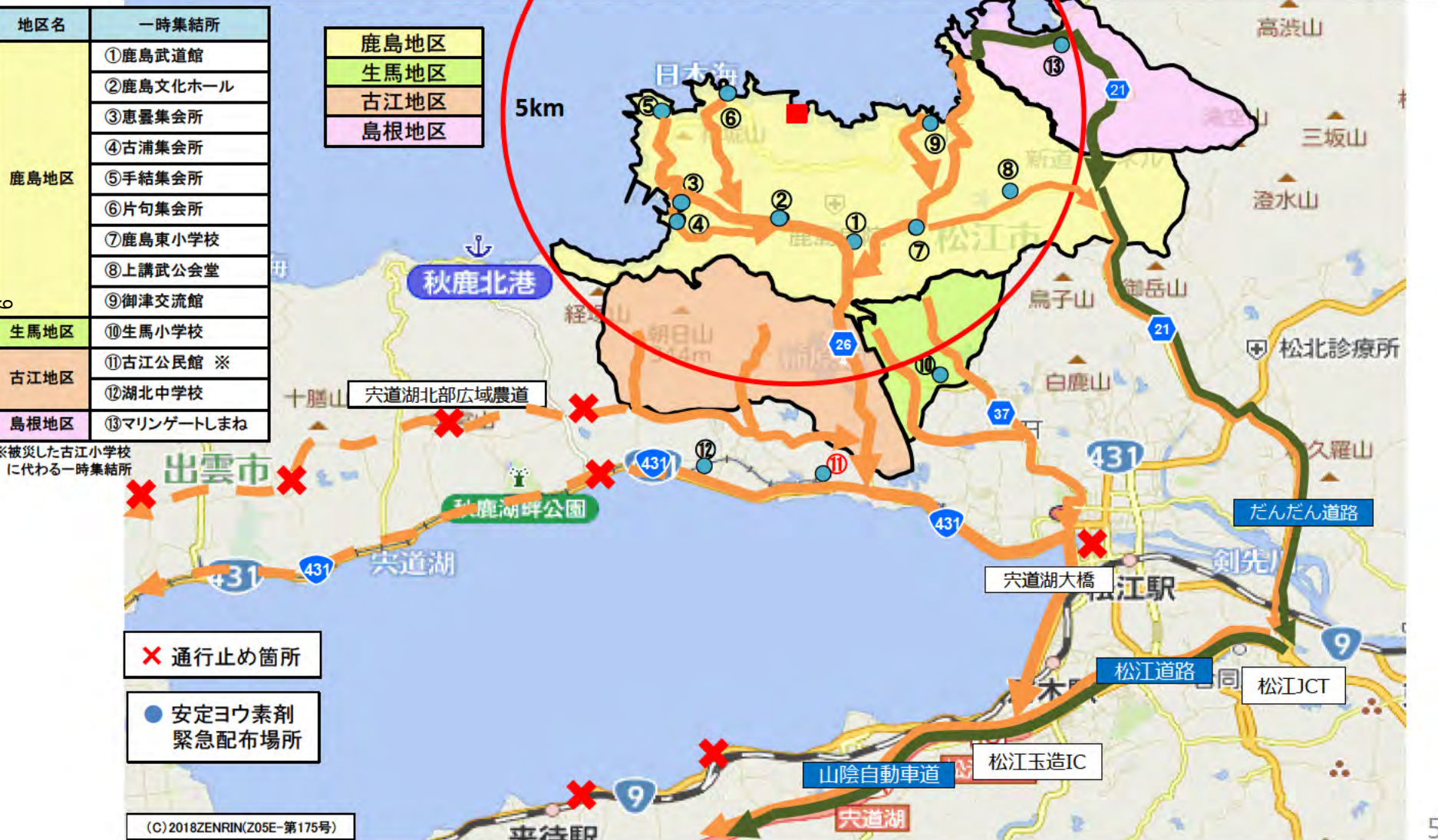
- 大田市避難経路所(鹿島地区)
- 大田市避難経路所(生馬地区)
- 大田市避難経路所(古江地区)
- 奥出雲町避難経路所(島根地区)

※円滑な避難を実施するため避難先市町は避難経路所を開設し、避難所の開設状況に応じて住民を避難所へ誘導

※奥出雲町へ至る経路に道路被害による通行規制箇所があるが、当該箇所の上りルートがあるため避難経路全体には影響がない。

PAZ内の住民の一時集結所と避難経路

- 宍道湖北部の国道431号線及び宍道湖北側広域農道に通行不能箇所が発生しているため、鹿島地区、生馬地区、古江地区の住民は湖北中学校以東の国道431号線、宍道湖大橋及び山陰自動車道等を利用して、予め定めた避難先(大田市)へ避難。
- 島根地区の住民は当初計画された避難先への経路を経由して、予め定めた避難先(奥出雲町)へ避難を行う。



松江市の移動手段の確保状況

➤ 松江市住民に係るバスの確保台数については、以下の表のとおり。

| 車両配備場所 | | 確保車両 | 不足車両 | 手配状況 |
|--------|---|--------------|------|-----------------|
| 地区 | 一時集結場所 | バス | バス | |
| 鹿島地区 | 鹿島武道館・鹿島文化ホール・恵曇集会所・古浦集会所・手結集会所・片匂集会場・鹿島東小学校・上講武公会堂・御津交流館 | 28台(891人) | 0台 | 島根県旅客自動車協会にて確保済 |
| 生馬地区 | 生馬小学校 | 2台(65人) | 0台 | 島根県旅客自動車協会にて確保済 |
| 古江地区 | 古江公民館・湖北中学校 | 3台(80人) | 0台 | 島根県旅客自動車協会にて確保済 |
| 島根地区 | マリンゲートしまね | 3台(92人) | 0台 | 島根県旅客自動車協会にて確保済 |
| 合計 | | 36台(1, 128人) | 0台 | |

安定ヨウ素剤の緊急配布

➤ 全面緊急事態では、あらかじめ配布している安定ヨウ素剤を服用して避難を行う。
 なお、事前配布を受けていない住民については、安定ヨウ素剤緊急配布場所となっている一時集結所等で、安定ヨウ素剤を受け取った上で避難を行う。

| 地区名 | 一時集結所 |
|------|------------|
| 鹿島地区 | ①鹿島武道館 |
| | ②鹿島文化ホール |
| | ③恵曇集会所 |
| | ④古浦集会所 |
| | ⑤手結集会所 |
| | ⑥片匂集会所 |
| | ⑦鹿島東小学校 |
| | ⑧上講武公会堂 |
| | ⑨御津交流館 |
| 生馬地区 | ⑩生馬小学校 |
| 古江地区 | ⑪古江公民館 ※ |
| | ⑫湖北中学校 |
| 島根地区 | ⑬マリングートしまね |

※被災した古江小学校に代わる一時集結所



留意事項（1 / 3）

PAZ内の住民の避難

- 松江市の住民避難には、自家用車及びバスを使用し、鹿島・生馬・古江地区の住民は大田市内の避難経由所を経由し、避難所（大田市内 32施設）に、島根地区の住民は奥出雲町内の避難経由所を経由し、避難所（奥出雲町内 15施設）に避難を実施する。

【安定ヨウ素剤】

- 避難に際しては、安定ヨウ素剤を服用して避難を行う。なお、安定ヨウ素剤の配布に関しては、以下のとおり。
 - ✓ 事前配布されている住民に対しては、服用の上で避難を行う。
 - ✓ 事前配布がなされていない住民に対しては、一時集結所（13箇所）で安定ヨウ素剤の緊急配布を行う。

地震被害への対応状況

1月8日14時00分に島根県東部を震源とする地震が発生。これにより、松江市で震度6強を観測し、人的、物的被害が発生。

431号線及び宍道湖北部広域農道で、道路破損等による通行不能箇所を複数確認。啓開活動に時間を要する見込みであり、鹿島・生馬・古江地区の住民に当初計画された避難先への経路が確保できないため、国道431号線は湖北中学校以東を利用し、松江市中心の宍道湖大橋および山陰自動車道を経由して、予め定めた避難先（大田市）へ避難を実施する。

314号線尾原トンネル付近に迂回路を設定。)を経由して、予め定めた避難先（奥出雲町）へ避難を実施する。

バス等の確保

- 避難の手段については、自家用車及び島根県が確保した車両（バス等）により避難を行うこととし、必要に応じて車両はピストン運行を行う。
- 今後の避難の進捗状況については、関係機関が連携し把握するとともに、追加の車両等が必要な場合は、自治体及び関係機関等が迅速に必要な措置を講ずる。

避難を円滑に行うための対応策

- 警察官、ヘリテレ等により道路渋滞を把握し、主要交差点等における交通整理・誘導・規制、道路情報板等を活用した広報等の交通対策を実施するほか、受入先の避難経路所付近では、大田市・奥出雲町職員等により避難経路所及び避難所への誘導を行う。

避難所等の開設準備状況

- 大田市の避難所32施設、広域福祉避難所8施設及び奥出雲町の避難所15施設、広域福祉避難所6施設の合計避難所47施設と広域福祉避難所14施設は、避難経路所に到着する避難者の人数等の状況に応じて、順次、開設する。